



葛飾区SDGs宣言書





宣言日 2023年 5月 16日

事業者等としての2030年の(又は中長期的な)あるべき姿					
社会に必要とされる存在の企業を志し、自分達らしい独自の方法を模索し続け、自分達でしか成しえない価値を創り続ける真のプロフェッショナル集団。					
事業者等としてのねらい、特徴的な活動					
プロフェッショナルライティングをバックボーンとして、デザイン、サイエンス、テクノロジーを融合して、省エネのみならず唯一無二の価値創造を通じて、社会に貢献いたします。					
目指すSDGsのゴール(複数選択可)					
					
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
					
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
					
<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
目標に関連する取組内容等					
ゴール	これまでの取組内容	2023年12月31日までの取組目標			
3・7・9 11・12・13	・高効率照明器具の開発 ・制御技術による省エネ且つ快適な空間の提案	・当社の高効率照明器具に制御技術を加えた提案を全案件に実施			
3・8・10	・障害者雇用の推進	・葛飾特別支援学校と、採用に向けた面談の実施する。			
4・5	・人事制度の継続的見直し	・リスクリングを含めた人材活用最適化スキームの構築			
7	・堀切工場のゼロエミッション化	・当社国内における全ての拠点の電力について、再生可能エネルギーによる100%調達を目指す			
15	・環境負荷の少ない原材料、副資材の採用	・グローバルな環境認証システムへの取組みを行う			
17	・国内外のサプライヤーとのパートナーシップ活性化	・環境負荷の低減に向けた商品開発を各パートナーとグローバルかつアカデミックに推進			

1	事業者等の名称	株式会社モデュレックス			
		本社が届け出る場合は、事業所(支店・営業所等)の数			7
2	業種	3. 製造業			
3	従業員(構成員)数	241			
4	代表者 職・氏名	職名	代表取締役		
		氏名	畦道 悟朗		
5	所在地	〒	124-0006 東京都葛飾区堀切1-20-19		
6	ホームページURL	https://www.modulex.jp/			

葛飾区SDGs宣言書

宣言日 2024年 3月 29日

事業者等としての2030年の(又は中長期的な)あるべき姿			
<p>私たちモデュレックスグループは、光環境や空気品質など複数の環境要因をワンストップで制御する技術力。人々の快適さ、楽しさ、幸せを最優先に考えるデザイン力。この2つの力から生まれる「独創的なアプローチ」により、世の中に最適な環境価値を提供いたします。</p>			
<p>事業者等としてのねらい、特徴的な活動</p>			
<p>「独創的なアプローチ」から生まれる価値創造をモデュレックスグループの事業活動に留まらず、学術活動・芸術活動の領域に展開し、より多くの人々の幸せと社会課題の解決に取り組んで参ります。</p>			
<p>目指すSDGsのゴール(複数選択可)</p>			
			
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
			
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
			
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<p>目標に関する取組内容等</p>			
ゴール	2023年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2024年12月31日までの取組目標
3・7・9 11・12・13・15・17	当社の高効率照明器具に制御技術を加えた提案を全案件に実施	コミュニケーションを重視したリスケリングを行うことで、社員の能力を活かした職場環境づくりを行っております。社員のやりがいと組織の継続的な成長を図ります。	光制御技術や空気品質の制御などの高度な技術を駆使しながら、建物内の人々と建物外の環境を最適に接続し、再生可能エネルギーとエネルギーの最適化を組み合わせることで、誰もが快適で幸せを感じられる本場のサステナビリティを目指します。
1・3・4・8・10・16	葛飾特別支援学校と採用に向けた面談の実施をする	堀切工場と福岡支店の電力について、100%再生可能エネルギーを使用しております。また、当社が社会貢献を目的に設立した「東京女子管弦楽団」の公演において、100%再生可能エネルギーを使用するなど、持続可能な社会づくりのための活動を継続しております。	障害者雇用の推進を継続いたします。立場の異なる人々が、それぞれ働き甲斐を持って活躍できる職場環境づくりを推進して参ります。
4・5・8・10	リスケリングを含めた人材活用最適化スキームの構築	環境負荷の低減を目的に、FSC認証を取得した段ボールの採用を開始いたしました。	社員の生活と安全を守る活動の1つとして、奨学金返済支援制度の導入を図ります。今後も社内に限らず幅広いステークホルダーの皆様と良好なコミュニケーションを築くことで課題を見出し、人が働きながら人生をより豊かにするための取り組みを継続して参ります。
1・2・6・7・14	当社国内における全ての拠点の電力について、再生可能エネルギーによる100%調達を目指す	環境負荷の低減を目的に、リサイクル率の高いアルミ材をメインとした照明器具の開発を進めております。	当社が大切にしている人の幸せと豊かさをテーマに、自社の事業領域を越えSDGs17項目全てに貢献して参ります。貧困や飢餓に苦む国や地域には、東京女子管弦楽団の音楽をインターネットで届ける体制づくりを進め、安全な水やトイレのない国や地域、海の豊かさを守る取り組みについては、社内に募金箱を常設し寄付という形で貢献いたします。なお、募金箱は、東京女子管弦楽団の演奏会場にも設置するなど、より多くの方からご支援いただけるよう努めて参ります。
9・12・13・15	グローバルな環境認証システムへの取組を行う	環境対応FSC認証のダンボールを使用	環境負荷の低減を目的に、さらに原材料・副資材等の見直しを継続して参ります。
17	環境負荷の低減に向けた商品開発を各パートナーとグローバルかつアカデミックに推進	リサイクル率の高い材料のアルミをメインに採用した照明器具を開発中	環境負荷の低減を目的に、商品開発やソリューションの展開を各パートナー企業の皆様と共に進めて参ります。

1	事業者等の名称	株式会社モデュレックス	
		本社が届け出る場合は、事業所(支店・営業所等)の数	6
2	業種	3. 製造業	
3	従業員(構成員)数	250	
4	代表者 職・氏名	職名	代表取締役
		氏名	曄道 悟朗
5	所在地	〒	124-0006 東京都葛飾区堀切1-20-19
6	ホームページURL	https://www.modulex.jp/	

葛飾区SDGs宣言達成状況報告書

宣言日 2025年 3月 28日

事業者等としての2030年の(又は中長期的な)あるべき姿			
<p>私たちモデュレックスグループは、電気エネルギーをどうやって快適で幸せに使うのかというテーマを追い続けて半世紀です。光を基点に、空調、映像、音響、香りなどを統合的に考え最適な環境をデザインし、「地球環境と人の豊かさ」を実現する統合環境ソリューションをご提供いたします。</p>			
<p>事業者等としてのねらい、特徴的な活動</p> <p>「独創的なアプローチ」から生まれる価値創造をモデュレックスグループの事業活動に留まらず、学術活動・芸術活動の領域に展開し、より多くの人々の幸せと社会課題の解決に取り組んで参ります。</p>			
<p>目指すSDGsのゴール(複数選択可)</p>			
<p>目標に関連する取組内容等</p>			
ゴール	2024年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2025年12月31日までの取組目標
3・7・9 11・12・13・15・17	<ul style="list-style-type: none"> 統合環境ソリューションの4つの事業を通じて幅広い社会課題解決を実施。 4つの事業 照明環境事業 環境制御システム インテグレーション事業 エクスペリエンスデザイン事業 エネルギーソリューション事業 	<ul style="list-style-type: none"> 4つの事業を最適に組み合わせた事業活動、学術活動、芸術活動を通じて、社会貢献活動を実施。 事業活動: 年間5,000件に展開。 学術活動: 大学機関と共同研究。 芸術活動: 東京女子管弦楽団によるリサイタル及び公演会の実施。 	<p>統合環境ソリューションの4つの事業を組み合わせて、建物内の人々と建物外の環境を接続し、再生可能エネルギーとエネルギーを組み合わせることで、誰もが快適で幸せを感じられる本当のサステナビリティを目指します。</p>
1・3・4・8・10・16	<ul style="list-style-type: none"> 葛飾特別支援学校と採用に向けた活動の継続実施をする。 立場の異なる人々が、それぞれの働きがいで活躍できる職場環境づくりと社員全員が一丸となって働く道標として当社独自のModuleX Wayの継続実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 葛飾特別支援学校の皆様に工場見学実施及び、採用に向けた活動の継続実施。 立場の異なる人々が働きがいのある職場環境づくりの継続実施。 全社員の働く道標となる規範としてModuleX Wayの継続実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者雇用の推進を継続いたします。 立場の異なる人々が、それぞれ働き甲斐を持って活躍できる職場環境づくりを、全社職場改革活動を通じて、より良い環境へ更新していく仕組みを構築する。 全社員の働く道標となるModuleX Wayの継続実施。
4・5・8・10	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い教育を社員が学べる環境整備や制度を継続的に更新する。 幅広いステークホルダーの皆様と良好な関係を楽しむ統合環境ソリューションによって社会課題を解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> 質の高い教育を社員が学べる研修全社業務改革活動の実施を通じて社員と会社の成長に向けた活動の実施。 統合環境ソリューションを通じてステークホルダーの価値創造を実施し、社会課題を解決に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社員の生活と安全を守る活動の1つとして奨学金返済支援制度の導入実施や、リスキリング教育及びリカレント教育の実施。 幅広いステークホルダーの皆様と良好なコミュニケーションを築くことで課題を見出し、人が働きながら人生をより豊かにするための取り組みの実施。
1・2・6・7・14	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー100%によるグリーンエネルギー活用の継続。 貧困や飢饉に苦しむ国や地域に東京女子管弦楽団の活動を通じて募金で貢献する体制づくり。 安全な水やトイレのない国や地域海の豊かさを守る活動に寄付する形で貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷低減につながる製品開発を再生可能エネルギー100%で継続的に活用する仕組みづくり。 建物の環境負荷低減につながるソリューションの提案活動の実施。 東京女子管弦楽団の活動を通じてSDGsの募金で環境課題や社会課題解決に貢献した。 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギー100%によるグリーンエネルギーの活用を継続し、環境負荷低減に寄与する。 建物の環境負荷低減につながるエネルギー診断から省エネ設備の提供と省エネにつながる制御システムの導入で環境課題解決につながる活動を実施した。 貧困や飢饉に苦しむ国や地域、安全な水やトイレのない国や地域、海の豊かさを守る取り組みについては、社内に募金箱を常設と東京女子管弦楽団の演奏会場にも設置し、寄付という形で貢献します。
9・12・13・15	<ul style="list-style-type: none"> グローバルな環境認証システムへの取組を行う。 環境負荷低減につながる製品開発。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境対応FSC認証のダンボールを使用した。 So環境共創イニシアチブの省エネ照明器具の登録(令和7年版) 	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の低減を目的に、さらに原材料・副資材等の見直しを継続して参ります。 省エネ性能の高い製品開発 制御機能付きLED照明器具の登録。
17	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷の低減に向けた製品を各パートナーや産学連携で開発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> リサイクル率の高い材料のアルミや環境性能の高い製品開発により環境負荷の低減に取り組んだ。 	<p>環境負荷の低減を目的に、商品開発やソリューションの展開を各パートナー企業の皆様と共に進めて参ります。</p>
1	株式会社モデュレックス		
	本社が届け出る場合は、事業所(支店・営業所等)の数		6
2	業種	3. 製造業	
3	従業員(構成員)数	250	
4	代表者 職・氏名	職名	代表取締役
		氏名	暁道 悟朗
5	所在地	〒	124-0006 東京都葛飾区堀切1-20-19
6	ホームページURL	https://www.modulex.jp/	

※上記のうち、1~6の内容は原則として公開します。

葛飾区SDGs宣言達成状況報告書

報告日 2026年 2月 17日

事業者等としての2030年の(又は中長期的な)あるべき姿					
創業以来、モデュレックスグループは人々の快適と幸福の為に、電気エネルギーをいかに活用すべきかを真摯に追求して参りました。2030年に向け、光を起点に空調、映像、音響などを統合・最適化し、地球環境と人の豊かさをさらに高いレベルで両立する「統合環境ソリューション」を提供して参ります。					
事業者等としてのねらい、特徴的な活動					
事業活動に留まらず、「独創」のソリューションアプローチから生まれる価値を、さらに産学共同研究などの学術活動や、文化・芸術活動などメセナ領域にも展開し、より多くの人々の幸せと社会課題の解決に取り組んで参ります。					
目指すSDGsのゴール(複数選択可)					
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
目標に関連する取組内容等					
ゴール	2025年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況		2026年12月31日までの取組目標	
3・7・9・11・12・13・15・17	ソーシャルインパクトビジネスを通じて、誰もが快適と幸福を感じられる、真のサステナビリティを提供	年間5,000件を超える事業活動に加え、大学機関との共同研究や東京女子管弦楽団など学術活動、芸術活動を通じて支援を実施		5つの事業活動に加えて学術活動、芸術活動により、ソーシャルインパクトビジネスを更に推進	
1・3・4・8・10・16	・障害者雇用の推進 ・全社員の働く道標となるModuleX Wayの実施	・葛飾特別支援学校の皆様に工場見学及び採用活動の実施 ・職場内障害者サポーター設置 ・ModuleX Wayの実践		・障害者雇用推進の継続と職場環境の整備 ・全社員の働く道標となる新しいModuleX Wayの制定	
4・5・8・10	社員と会社の成長に向け、質の高い教育を社員が学べる環境の整備	全社員が活用できる奨学金返済支援制度の導入とリスティング教育およびリカレント教育の実施		社員と会社の成長に向け、質の高い教育を社員が学べる環境整備の継続と、制度利用者の拡大	
1・2・6・7・14	環境負荷の低減を目的とし、クリーンエネルギー等を活用	当社拠点(堀切工場・福岡支店)、および東京女子管弦楽団公演の電力は100%再生可能エネルギーを使用		環境負荷の低減を目的とし、クリーンエネルギー活用の継続と活用施設の拡大	
9・12・13・15	環境負荷の低減を目的とし、 ・原材料・副資材等の見直し ・省エネ性の高い製品開発	・FSC森林認証ダンボールの使用 ・技術革新によるエネルギー効率の高い製品開発		継続的な環境負荷の低減 ・原材料・副資材等の見直し ・省エネ性の高い製品開発	
1～17	・東京女子管弦楽団への資金援助により継続的な演奏活動機会を創出 ・同楽団の演奏活動を通じて募金への協力を呼びかけ、SDGs17項目全てに貢献する体制づくり	・女性音楽家の社会的地位向上とキャリア問題解決を目指す当社の支援活動が評価され、メセナアワード2025優秀賞受賞 ・各定期演奏会等で募金活動を行い、2025年度は日本ユニセフ、ジョイセフに約14万円寄付		・東京女子管弦楽団への支援活動を継続 ・社内常設募金箱や東京女子管弦楽団活動を通じたSDGs17項目に対する寄付活動を継続	

1	事業者等の名称	株式会社モデュレックス			
		本社が届け出る場合は、事業所(支店・営業所等)の数		6	
2	業種	3. 製造業			
3	従業員(構成員)数	234			
4	代表者 職・氏名	職名	代表取締役 兼 社長執行役員		
		氏名	暁道 梧朗		
5	所在地	〒	124-0006		
			東京都葛飾区堀切1-20-19		
6	ホームページURL	https://www.modulex.jp/			